

シアトルだより - December 2016 Vol.9



温暖と聞いていたシアトルですが今年はまだもう3回も雪が降りました。北高と比べればどうということありませんが、一度休校になりました。



11月第4木曜サンクスギビングの翌日をクリスマスショッピングを始めるブラックフライデーといい、クリスマスシーズン突入です。12月中



ごろになると挨拶が交わされます。宗教に関係なく使えるのは「ハッピーホリディ」で、感謝の言葉を記したカードやジンジャーブレッドクッキーを贈りあい、暖炉のそばなどに飾っておきます。生徒からももらいました。クリスマスツリーは本物の木があちこちに売られていて驚きました。

高校では年に2度、みんなが同じテーマの服装をしてくるスピリットウィークがあります。冬のスピリットウィーク最終日は、アグリースウェーター(クリスマス柄のセーター)ディでした。街にはサンタ帽やトナカイカチューシャをつけている人が多く、シアトルではセーターのダサさを楽しむマラソンまであったようです。



コンサートもたくさんありました。学校に500人程度収容の劇場が併設されていて、その中のスタジオで音楽の授業を受けた上に早朝や放課後に練習しています。最大の催しは、隣町の高校のホールでのオーケストラとコーラスの合同コンサートです。有料ですが、なんと1200人収容ホールが2階までいっぱい。踊りながらのクリスマスキャロルから堂々とした本格的宗教音楽まで盛りだくさんで、本当にプロのようでした。出演生徒は男女ほぼ同数ですが、多すぎて順番に演奏したり、客席を取り囲んで演奏したりとすごい迫力でした。それもそのはず全校生徒の6分の1に当たる400名が出演していました。

ところで月に一度ほど集会があり、先月はベテランズデイという退役軍人をたたえる集会でした。映画館やレストランでも割引があったり、職員の中にも軍経験者の先生がたくさんいたり、軍と日常生活の密接さがうかがわれ、いかにもアメリカらしいと感じます。12月は冬のスポーツを応援する集会でした。



冬のスポーツは、男女レスリング、男女バスケ、男子水泳/ダイビングです。音楽もやる生徒は多く、バイオリンも競泳もトップレベルの生徒もいます。オーケストラとレスリング、日本では相性がいいイメージはありませんが、どちらもたしなみとして楽しんでいるのは恰好いいと思います。



さて日本語の授業では、日本のソウルフード!のおにぎりを作ったり、ボランティアの方に来ていただいて買い物会話の練習をしたりしました。コンビニおにぎりの包装やデパートのラッピングサービス、お札の精巧な偽造防止加工など、日本の技術やクオリティにはみな驚いていました。

では、ハッピーホリディ!みなさまよいお年を。